

交通安全についての講話を実施し、交通事故を未然に防ぐ。



長江 菖子 さん(1994年生まれ)

同朋高校 出身  
名城大学 法学部卒業

愛知県警察 蟹江警察署

愛知県海部郡蟹江町富吉3丁目225番地  
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学(公務員試験対策講座を受講)→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→一番勤務を経験→交通課に配属

— 学生時代

「高校時代は、ソフトボール部に入部し、3年間ずっと部活漬けの日々でした。初めは部員が少なく、男子ソフトボール部と一緒に練習をしていましたが、徐々に部員も増えていき、最後の大会では勝つことができました。部活を通して精神的にも大きく成長できたと思います。高校卒業後は、名城大学法学部に進学しました。大学3年生のときに、「警察官の父親はどんな仕事をしているんだろう?」と興味を持ったことと、私が小学生の頃に交通事故にあつた経験から、警察官になつて交通事故を減らしたいと思ひ立ち、警察官を志望しました」

— 仕事について

「警察官として採用されると、まず警察学校に入校します。ここでは、警察官としての基礎を学ぶことになりませんが、私はそれ以外にも自己管理や忍耐、人間力について学ぶことができたと思っています。警察学校では、機動隊の装備を付けて、『終わり』と言われるまで走り続ける訓練が特に辛かった思い出ですが、様々な訓練を通じて、目の前の出来事へ必死に取り組む姿勢が育まれたと思います。警察学校を卒業後、2年半ほど交番で勤務をしました。その際、先輩の警察官からは、「市民にとっては、新人もベテランも関係なく同じ警察官だ」とよく言われました。先輩とは同じ対応はできなくても、常に警察官としてどう行動するべきかを自分なりに考



えて勤務をしています」

現在の仕事内容を教えてください。

「現在は交通課に配属されています。私の仕事は、交通事故をなくすることです。蟹江警察署の交通課は、交通総務係、指導取締係、事故捜査係に分かれており、私は交通総務係で働いています。免許の更新窓口の対応、視力検査や免許写真の撮影などを担当しています。あとは、学校などで行う交通安全についての講話も重要な仕事です。蟹江警察署の管内では、自転車で行動する学生が多いので、自転車のマナーやルールに関する講話をすることが多いです」

— やりがい

「交通事故に直結する交通違反を取り締まることで、ドライバーの意識が変わり、1件でも交通事故を減らすことに貢献できることにやりがいを感じます。ドライバーの『これから気をつけます』という言葉に、明日からも頑張ろうと元気をもらっています。警察官というつかつかつこいい男性警察官をイメージする方が多いと思いますが、女性被害者の対応など女性警察官だからこそ活躍できる場所もたくさんあります」

— なるためには

「採用試験の対策は、参考書で勉強したり、専門学校で勉強したりするなど、人によって違いますが、私は大学の公務員講座を受けて勉強しました。学生時代は、いろいろな人と接する機会を増やして視野を広げてください。警察官の仕事は、コミュニケーション能力がとても大切になります。学校のクラス内の世界だけでなく、別のクラスの同級生とも仲良くなって輪を広げると、高校生活がより楽しくなると思います。勉強はもちろん、色々なことに挑戦してください!」

ありがとうございます。



自  
分  
の  
安  
心

18歳 部活漬けの高校生活。部活を通し、メンタル面が鍛えられる。

22歳 警察官だった父親の影響もあり、自身も同じ道へ。警察官採用試験に合格。

26歳 交通課に配属。免許更新の対応や交通安全についての講話を行う。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

